

今回報告の定例会は



# たてやま議会だより

令和4年12月号



未来に残したい館山の風景

楽しいね！秋の日

撮影：井田友海さん

第3回  
臨時会特定空家の解体工事（行政代執行）  
災害復旧工事の補正予算など3件を議決原案  
可決

令和4年第3回臨時会は、8月5日に開催され、市長提案の議案3件の審議を行い、一般議案2件及び、特定空家の行政代執行による解体工事費など、6千770万5千円を増額する補正予算1件を全会一致で可決しました。議案の内容は次のとおりです。

## ◇議案第35号 財産の取得について

- ・コロナ禍における職員の接触機会の低減とオンライン会議等を進めるため、ノート型パーソナルコンピューター等を株式会社ヤマスから4千479万2千円で購入するものです。

## ◇議案第36号 財産の取得について

- ・CD-I型消防ポンプ自動車1台を長野ポンプ株式会社東京営業所から2千213万4,300円で購入するものです。（配備場所：消防団第3分団第7部（北条地区））

## ◇議案第37号 令和4年度館山市一般会計補正予算（第6号）

- ・歳入歳出それぞれ6千770万5千円を追加し、総額231億4千191万5千円とするものです。主な内容は次のとおりです。

**土木費／道路維持補修事業**（3千50万円）：市道等の日常的な維持修繕や簡易な緊急維持工事に伴うもの。  
**特定空家等対策事業**（720万5千円）：空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく、特定空家の行政代執行による解体工事に伴うもの。

**災害復旧費／土木施設災害復旧事業**（3千万円）：令和4年6月22日の大雨により被災した道路及び河川の災害復旧工事等に伴うもの。

**債務負担行為の補正／食のまちづくり拠点施設整備費**（3億4千623万4千円）：ウクライナ情勢等による物価高騰に起因する工事請負費の増額に伴うもの。

## 9月定例会

原案  
可決

令和3年度決算認定  
新館山中校舎等工事契約  
価格高騰緊急支援給付金（住民税非課税世帯5万円）  
など19件を議決

## 一般会計決算の概要

令和3年度の一般会計の決算規模は、歳入総額239億7千287万円（前年度比26・

6%減）、歳出総額228億7千883万5千円（同26・4%減）で、歳入歳出差引額は、10億9千403万5千円で、翌年度への繰越財源1億503万3千円を差し引いた実質収支額は、9億8千900万2千円（同23・9%減）となりました。令和2年度は、令和元年房総半島台風等からの復旧・復興費用と新型コロナウイルス感染症対策費用（特別定額給付金など）で90億円を超える支出があったことから、決算規模は前年度比で大きく減少したものの、新型コロナウイルス感染症対策が継続していることなどから、200億円を超える決算となりました。

令和4年9月定例会は9月1日に招集され、9月29日までの29日間の会期で開催し、市長提案による条例議案3件、一般議案5件、補正予算5件、認定議案5件、請願1件を審議しました。  
初日に一般議案1件、補正予算1件を先議し、原案どおり可決しました。委員会審査では令和3年度決算について、決算審査特別委員会に付託し、その他議案7件は、所管する各常任委員会に付託し審査しました。  
最終日に各委員会審査の結果を報告し、追加議案とともに審議し、慎重審議の結果、全ての議案を、原案どおり全会一致で、可決、同意、認定し、請願1件を全会一致で採択しました。主な議案の内容は、次のとおりです。

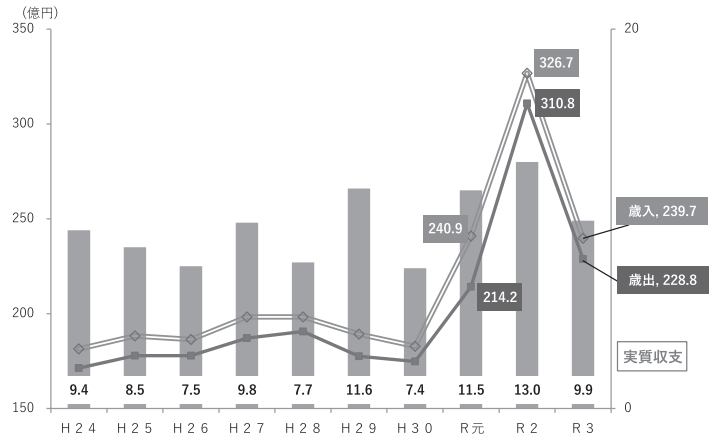
令和3年度一般会計・特別会計決算 (千円)

| 区分     | 歳入総額       | 歳出総額       |
|--------|------------|------------|
| 一般会計   | 23,972,870 | 22,878,835 |
| 特別会計   | 国民健康保険     | 6,269,277  |
|        | 後期高齢者医療    | 804,606    |
|        | 介護保険       | 6,315,513  |
| 特別会計合計 | 13,389,396 | 12,809,891 |

令和3年度下水道事業会計決算 (千円)

| 区分    | 収入      | 支出      |
|-------|---------|---------|
| 収益的収支 | 661,230 | 494,297 |
| 資本的収支 | 284,670 | 535,736 |

一般会計 歳入歳出決算額・実質収支の推移 (過去10年)



決算審査特別委員会

委員長 信重 石井  
副委員長 順子 鈴木  
委員 祐三 本木 正滋 浩昇 秀聖 龍太 望月 谷川 佐野

決算審査特別委員会では、令和3年度決算（認定第1号（第5号）等）について厳正な審査を行った結果、全員一致をもって原案どおり認定すべきと決しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

◇総務費／移住・定住促進事業について

問 令和3年度の移住相談業務の相談件数のうち、今までに移住を完了した世帯数、人数を伺います。

答 令和3年度の新規相談218件のうち、令和4年8月末までに移住が完了したのは、14世帯27名です。

◇民生費／包括的相談支援業務委託料について

問 相談員の人数と権利擁護の相談の具体的な内容を伺います。

答 相談員は1名ですが、他の業務との関連もあるため、もう1名と連携しています。相談内容は、将来認知症になった場合や、親族がいらないことによる不安などに對し、成年後見人制度や日常生活自立支援事業等の説明を行っています。

◇衛生費／可燃ごみ収集運搬事業について

問 可燃ごみ搬入量の前年度との比較と減量化の取組について伺います。

答 令和3年度の可燃ごみの搬入量は、約1万6千355トンで、前年度と比較すると約121トン減量化されました。減量化の取組は、分別の徹底が重要で、引き続き、清掃センターの大規模改修工事に伴い多額の外部搬出処理費用がかかる実情を市民の皆様知らせるとともに、ごみの収集状況やごみ減量化の基本となる4Rなどについて、出前講座も含め周知していきます。

◇農林水産業費／加工品開発支援事業補助金について

問 補助の実績7件とは7商品で、全て商品化されているのか伺います。

答 7商品で、全て商品化され購入できます。

◇商工費／企業誘致推進事業について

問 ワークーション体験プログラムの回数及び参加人数を伺います。

答 体験プログラムの実施回数は1回で、参加人数は22名です。

◇土木費／市営住宅施設修繕事業について

問 現在の那古住宅の入居率及び長寿命化計画により、何年使用可能になるか伺います。

答 入居可能な戸数は32戸、入居済みが30戸です。長寿命化計画による延命化は、耐用年数を50年から70年に延ばします。

◇教育費／ICT支援員業務委託事業について

問 業務委託による職員の負担の軽減について伺います。

答 支援員の業務は、年度初めのデジタル教科書のインストール作業、年間を通じたICT機器による授業計画や教材の作成等、年度末は、卒業生、新入生及び教師の異動等、各種アカウ

ントの設定作業を行いました。また、市内の全ての小中学校の教職員へのアンケート調査では、203人のうち196人から、「適切なサポートや助言により助かっている」との回答があり、高い評価を受けていますので、負担軽減が図られたと認識しています。

◇災害復旧費／土木施設災害復旧事業について

問 災害復旧工事は、令和3年度までに何パーセント完了しましたか。

答 復旧工事の必要箇所は51箇所、令和3年度末までに46件、約90パーセントの工事が完了しています。残り5件は、2件が契約済で、3件は発注の準備を行っています。



# 任 常 委 員 会

3つの委員会が所管する部門や事務に関する調査、付託を受けた議案・請願などを審査します。

# 総務

委員長 重信 三之夫  
副委員長 木下 祐浩  
委員 石井 本 井 能  
副委員 鈴木 太 石 瀬

総務委員会では、付託された5件の議案と継続審査中のご当地ナンバー導入に関する請願（請願第13号）が審査されました。慎重審査の結果、全ての議案が全員の一致をもって可決すべきと決し、請願第13号は全員一致をもって採択されました。主な議案の内容と質疑応答は次のとおりです。

◇議案第41号 館山市議会議員及び館山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 何を基準に値上げをするのですか。  
答 国の規定の改正によるものです。



◇議案第44号 令和4年度館山市一般会計補正予算（第8号）

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ2億9千145万4千円を追加し、総額234億4千80万5千円とするものです。

問 高齢者日常生活支援事業のショートステイ事業委託料は、どのような人が利用する際の費用ですか。

答 生活習慣の指導等が必要な高齢者や、家族等から虐待を受けているため、分離して保護する必要がある高齢者が、養護老人ホームにショートステイした場合に、その施設に対して支払うものです。

# 文教民生

委員長 一子 一昇 宏  
副委員長 佐野 順 亮 正 敏  
委員 佐野 鈴木 橋 月 井  
副委員 鈴木 本 望 森 石

文教民生委員会には、1件の議案が付託され、慎重審査の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。議案の内容と主な質疑応答は次のとおりです。

◇議案第45号 令和4年度館山市介護保険特別会計補正予算（第1号）

問 介護給付費準備基金積立金の上限はいくら位と考

問 那古山治山事業について、補正予算額は工事費も含んだ金額ですか。本工事費には国・県の補助があるのですか。  
答 補正の内容は、測量と設計の委託料で、治山事業の本工事については、別途費用がかかり、千葉県の補助事業を活用して行う予定です。補助率は、県が3分の1で、市の負担は3分の2となります。

# 建設経済

委員長 正浩 章 滋 美 徳  
副委員長 鈴木 孝 光 厚 秀  
委員 鈴木 田 山 崎 谷 川  
副委員 倉 秋 龍 室 長

建設経済委員会には、1件の議案が付託され、慎重審査の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。議案の内容と質疑応答等は次のとおりです。

館山市は過去2回、保険料額は据え置きになっていきます。その理由は基金の充当によるもので、今後も基金を最大限に活用し、保険料の上昇を抑制できればと考えています。



◇議案第46号 令和4年度館山市下水道事業会計補正予算（第1号）

問 電気代の高騰による556万6千円の増額の補正予算を組みましたが、電気代の総額の見込みを伺います。  
答 現時点で、1千671万4千円を見込んでいます。

# 追加議案

定例会の最終日には、一般議案1件、補正予算1件、人事案件1件が追加議案として上程され、審議の結果、原案どおり可決、同意しました。議案の主な内容は次のとおりです。



| 新たな委員         |            |           |             |            |
|---------------|------------|-----------|-------------|------------|
| 議会運営委員会委員     | 青少年問題協議会委員 | 総合計画審議会委員 | スポーツ推進審議会委員 | 地域公共交通会議委員 |
| 鈴木順子議員        | 長谷川秀徳議員    | 石井信重議員    | 石井敏宏議員      | 鈴木ひとみ議員    |
| 学校再編調査検討委員会委員 |            |           |             | 榎本祐三議員     |

辞職に伴い生じた各委員会等の欠員に対して、新たに選任した委員は次のとおりです。

議員辞職  
委員変更

室厚美議員が定例会最終日、森正一議員が9月30日に辞職しました。

◆議案第50号 館山市教育委員会委員の任命について  
教育委員の任期が満了となる庄司友之委員について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、引き続き適任と考え、教育委員に任命するものです。

◆議案第49号 令和4年度館山市一般会計補正予算（第9号）  
歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ3億7千398万4千円を追加し、総額238億1千478万9千円とするものです。  
歳出の内容は、国による「電力・ガス・食料品等の価格高騰に対する支援」として、令和4年度住民税非課税世帯等に対する緊急支援給付金です。  
主な歳入は、緊急支援給付金の財源として国支出金の増、また、多子世帯への経済的支援のため千葉県が行う学校給食費無償化に対する補助制度を活用し、市内小中学校に在籍する、第3子以降の学校給食費の無償化に伴う県支出金の増額などです。

◆議案第48号 工事請負契約の締結について  
新館山中学校校舎等の工事に係る総合評価一般競争入札の結果、前田・白幡・石井特定建設工事共同企業体が、33億2千838万円で落札したため、同社と工事請負契約を締結とするものです。

令和4年第3回 臨時会提出議案議決結果

| 議案番号   | 件名                    | 付託委員会 | 議決結果      |
|--------|-----------------------|-------|-----------|
| 議案第35号 | 財産の取得について             | —     | 原案可決 全会一致 |
| 議案第36号 | 財産の取得について             | —     | 原案可決 全会一致 |
| 議案第37号 | 令和4年度館山市一般会計補正予算（第6号） | —     | 原案可決 全会一致 |

令和4年第3回 定例会提出議案等議決結果

| 議案等番号  | 件名                                                                  | 付託委員会 | 議決結果      |
|--------|---------------------------------------------------------------------|-------|-----------|
| 議案第38号 | 契約の締結について                                                           | —     | 原案可決 全会一致 |
| 議案第39号 | 令和4年度館山市一般会計補正予算（第7号）                                               | —     | 原案可決 全会一致 |
| 議案第40号 | 千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について | 総務    | 原案可決 全会一致 |
| 議案第41号 | 館山市議会議員及び館山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について                | 総務    | 原案可決 全会一致 |
| 議案第42号 | 館山市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について                                  | 総務    | 原案可決 全会一致 |
| 議案第43号 | 館山市国民保護協議会条例の一部を改正する条例の制定について                                       | 総務    | 原案可決 全会一致 |
| 議案第44号 | 令和4年度館山市一般会計補正予算（第8号）                                               | 総務    | 原案可決 全会一致 |
| 議案第45号 | 令和4年度館山市介護保険特別会計補正予算（第1号）                                           | 文教民生  | 原案可決 全会一致 |
| 議案第46号 | 令和4年度館山市下水道事業会計補正予算（第1号）                                            | 建設経済  | 原案可決 全会一致 |
| 議案第47号 | 令和3年度館山市下水道事業会計剰余金の処分について                                           | 決算審査  | 原案可決 全会一致 |
| 議案第48号 | 工事請負契約の締結について                                                       | —     | 原案可決 全会一致 |
| 議案第49号 | 令和4年度館山市一般会計補正予算（第9号）                                               | —     | 原案可決 全会一致 |
| 議案第50号 | 館山市教育委員会委員の任命について                                                   | —     | 原案同意 全会一致 |
| 認定第1号  | 令和3年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について                                           | 決算審査  | 認定 全会一致   |
| 認定第2号  | 令和3年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について                                     | 決算審査  | 認定 全会一致   |
| 認定第3号  | 令和3年度館山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について                                    | 決算審査  | 認定 全会一致   |
| 認定第4号  | 令和3年度館山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について                                       | 決算審査  | 認定 全会一致   |
| 認定第5号  | 令和3年度館山市下水道事業会計決算の認定について                                            | 決算審査  | 認定 全会一致   |
| 請願第13号 | ご当地ナンバー導入に関する請願                                                     | 総務    | 採択 全会一致   |

## 一般質問

一般質問は、市政について、本会議場で、市に対し議員が質問を行うものです。



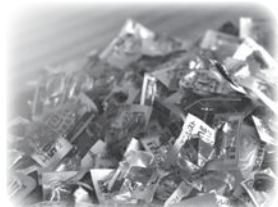
鈴木 順子議員  
8期目・72歳・下真倉  
じゅんぷう  
(文教民生委員会副委員長)

## 薬のパッケージのリサイクルを

**問** 館山市は清掃センター改修に伴い、可燃ごみを減らす取組をしており、このことをきっかけに薬のパッケージ(軟質プラスチック)の分別収集を行う考えはありませんか。

**答** 病院や薬局で処方された薬のパッケージの一部は、市がリサイクルをするプラスチック製容器包装の対象外となつていますが、他にリサイクルのルートがあれば活用されることが望ましく、そのような取組が広がることを期待しています。

**解説** 軟質プラスチックをリサイクルの対象としている自治体があると聞きます。薬局と連携し、リサイクルを視野に入れ、検討していただきたいと思えます。ごみを減らす努力を出来ることから始めてほしいです。



## 館山駅周辺の整備について



館山駅東口

**問** 駅や高速バス利用者、送迎のための停車スペースなど、館山市の玄関口としては手狭な状況をどう整備していきますか。

**答** 館山駅東口駅前広場は安全性、利便性の向上を目的とし、広場全体の改修計画を検討しているところです。駐輪場跡地については賑わいのある、人と人が交流できる場所として活用を考えています。今後は「館山らしさ」を感じられる交流空間にしたいと考えています。

**解説** 現在、駅前広場には路線バスや高速バス、停車スペース、駐輪場跡地等、空いているスペースを無理に使っているように感じます。また、安全面を考えると広場中央にある歩道のあり方も考える必要があると思えます。関係事業者や市民の意見を取り入れて整備すべきと考えます。

## 海岸の環境保全と安全対策について



太田 浩議員  
3期目・67歳・塩見  
市民クラブ  
(総務委員会委員)

**問** 市の開設する海水浴場以外の環境保全と安全性について伺います。

**答** 環境保全については、観光みなと課所属の警察官OBで組織した海水浴場監視隊4名により海水浴場4箇所を中心に海岸パトロールを実施しています。また、水上オートバイ利用者へのマナー指導等については、海水浴場以外の海岸も含め、海・浜合同パトロールを行っています。

**解説** 市の開設する海水浴場以外の海岸も有効な観光資源です。その反面、監視の目が届きにくい海岸もあり、来訪者のマナーも懸念されることから、海水浴場4箇所と同様の監視と指導をお願いするものです。

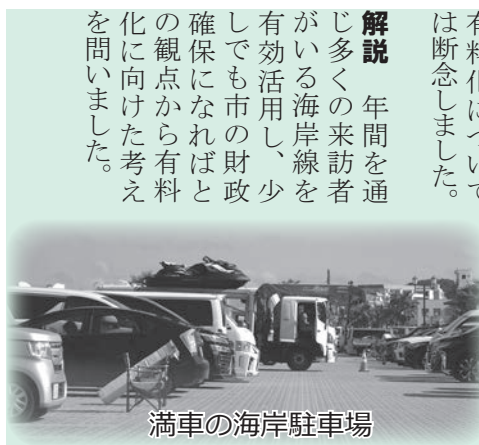
## 海岸の有効活用と駐車場の有料化について

**問** 北条・新井・八幡の各海岸などの駐車場有料化について伺います。

**答** 過去に海岸及び港湾管理者である千葉県と協議を行いました。協議の中で千葉県が国土交通省に確認したところ、館山市が海岸駐車場の有料化

を直接実施するには、千葉県から海岸管理者としての権限移譲を受ける必要があるとの見解が示されました。検討の結果、館山市が管理者となった場合、市の負担が大きいため権限移譲を受けることは困難であるとの結論から有料化については断念しました。

**解説** 年間を通じ多くの来訪者がいる海岸線を有効活用し、少しでも市の財政確保になればとの観点から有料化に向けた考えを問いました。



満車の海岸駐車場

## 赤道の整備について

**問** 赤道の整備について、今後の取組を伺います。

**答** 赤道の整備は、機能管理を行っている各地区からの申請により、維持補修に必要な資材を支給しています。また、資材交付を受けても地区住民では整備が困難な場合、工事申請により、市が工事発注する制度もありますのでご相談ください。

**解説** 各地区では、年々高齢化が進んでおり、地区住民だけでは対応が困難となつてきているため、行政の支援に大きな期待を寄せているものです。

(7)

## たてやま議会だより



## 多子世帯の

## 教育費負担軽減を



瀬能 孝夫議員  
3期目・65歳・佐野  
公明党  
(総務委員会委員)

**問** 第三子以降及び多胎児を持つ保護者の支援について伺います。

**答** 多子世帯の支援及び今年度の物価高騰への対策として、現在、多子世帯の学校給食費の無償化について、本定例会中に追加補正予算の提案が出来るよう準備を進めているところです。

**解説** 以前にも取り上げたテーマですが、少子化対策として産み育てやすい環境を整える必要性と、多子世帯では経済的負担が大きいことから、3人目以降の教育費を公的に支援する制度の導入を提案しました。今議会で議案が示されることは歓迎します。また、双子や三つ子など多胎児の場合は、全ての経費で2倍、3倍となり、多胎児にも特化した負担軽減策を検討するよう訴えました。

## 若者議会の開催を求む

**問** 若者議会の開催について伺います。

**答** 若者が政策形成を体験する取組として、平成29年8月に、環境政策論を専門とする千葉大学の教授を中心とした研究チームと連携し、市内中高生を主役とした「たてやま未来ワークショップ」を開催し、2040年の未来市長として、現市長に対する政策提言を行いました。他自治体の先進事例を参考にしつつ、引き続き、若者をはじめ、市民の皆様にもちづくりへの関心を持ってもらえよう、機運を醸成していきたいと考えています。

**解説** 本市の各選挙における投票率は、その多くで全国平均を下回っており、世代別では若者が低いことから、この世代が参加し、行政や政治に関心を持つための施策の必要性を痛感します。そこで、若者が提案し、事業化にまで結び付けている「新城市若者議会」を好事例として紹介しました。また、小・中学生に対しても、政策課題や公共への意識の醸成など、将来を担うための主権者教育として、子ども議会の開催を提案しました。



龍崎 滋議員  
3期目・68歳・広瀬  
公明党  
(建設経済委員会委員)

食のまちづくり拠点施設  
今後の事業展開を問う

**問** 運営体制における生産者協議会、出店者協議会との連携を伺います。

**答** 施設へ農産物や加工品を出荷する生産者による生産者協議会と、飲食テナントなどの出店者による出店者協議会を設立する予定です。この施設の目指す理念やコンセプト、方向性を生産者や出店者と共有し、相互に意見交換ができる場を設け、施設の維持継続、魅力向上に向けた課題解決や新たな取組などに積極的に取り組んでいける体制を作りたいと考えています。

**解説** 令和6年2月オープンに向けた拠点整備事業の本契約が、今回の定例会で議会の承認を得たタイミングで、今後の運営体制について質問しました。他に、市内観光との連携、物販機能の充実、コンセプトである体験機能の課題などを質問し、市民や「道の駅」への来訪者に感動を与えられるような拠点運営について提案しました。

## 多発する豪雨災害に備えて

**問** 市内の治水対策について、今後予定する地域と対策の方針及び内容を伺います。

**答** 洪水状況等を関係課で情報共有するとともに、対策の検討及び排水路等の改修工事を進めています。令和4年度は、洪水被害の緩和を目的に、排水路や市道側溝、流末側溝の改修工事を実施する予定です。また、境川流域の治水対策を検討するため、流域調査業務を実施するとともに、洪水被害軽減対策の一つとして雨水を一時貯留させる田んぼダムの取組を山本地区と安布里地区で進めています。滝川については今後も引き続き千葉県に整備促進を要望します。

**解説** 全国的に大規模な豪雨災害が多発する中、市の対策や今後の方針等を問いました。特に、かねてから要望の上がついている境川上流の山本地区の治水について今後の計画を尋ねました。

また、令和元年の豪雨の際に滝川上流域の山名川で発生した溢水を例に、改修工事の早期実現を要望しました。



滝川の溢水（令和元年）



**室 厚美議員**  
2期目・57歳・波左間  
新しい風の会  
(建設経済委員会委員)

## ジビエ加工処理施設

### 『安定的な運営を』

**問** 昨年末に稼働を開始したジビエ加工処理施設の運営状況と課題を伺います。

**答** 開業後8か月を経過したところであり、安定稼働には至っていませんが、ジビエの飲食店等への販売に加え、ペットフードとしての販売や皮の活用など、試行錯誤を重ねながら施設の安定運営に向け、努力されているものと認識しています。

**解説** 安定的な仕入れのために南房総市から個体を受け入れることや、担い手不足への対策を要望しました。



館山ジビエセンター

## 関係人口の創出について

### “愛着”につながる施策を

**問** 関係人口の創出を目的とした施策の取組状況と課題を伺います。

**答** ふるさと納税の推進やスポーツイベントの開催のほか、館山の特性を活かしたワーケーションやリノベーションまちづくりの推進、ユーチューブチャンネルでの館山の魅力発信などを実施しています。特にワーケーションについては、将来的な移住・定住人口の促進を目指す取組でもあり、昨年11月に館山市のテレワーク拠点施設としてリビングエニウェア・コモンズ館山がオープンしました。ワーケーション業務に携わる2名の地域おこし協力隊員による地域課題解決型のワーケーション体験プログラムの実施や、サテライトオフィスの誘致に向けた民間運営施設への改修支援など、幅広い取組を通じて、まちの活性化を図りながら、更なる関係人口の創出に努めています。

**解説** それぞれの施策が、「関心を持つ、来る、通う、住む」という流れの中のどこに位置するのかを整理して、特に「通う」ためにはモノや人に愛着を持つってもらうことが重要であることを主張しました。具体的には、異業種の企業研修によつて社会的課題を解決していくことで、ビジネスリーダー達が地域との関係性を強める事例を紹介しました。



**鈴木 ひとみ議員**  
1期目・63歳・佐野  
新政クラブ  
(総務委員会副委員長)

## 海岸美化組織の設立について

**問** 海岸美化組織の設立について市の考えを伺います。

**回答** 市職員2名が「公益財団法人かながわ海岸美化財団」の現地視察に参加しました。千葉県の主導により、千葉県内においても同様の海岸美化組織が設立されるよう働きかけていきたいと考えています。

**解説** 神奈川県では「公益財団法人かながわ海岸美化財団」により、海岸の清掃、清掃ボランティアの支援、海岸美化のPRが行われています。

同様の海岸美化組織を千葉県でも設立し、「きれいな海岸」の維持管理が図られるようにしたいと思っています。そのため市の強い働きかけを望みます。



かながわ海岸美化財団による清掃(藤沢市)

## 令和元年台風災害の教訓と 防災対策について

**問** 令和元年房総半島台風から3年、この間の防災対策の改善について伺います。

**回答** 危機管理室を危機管理課に格上げし、本部事務局長として危機管理部長を配置して、災害対策本部の体制強化を図りました。また、情報伝達は防災サバーを増設し、防災行政無線の予備バッテリーを備蓄、停電復旧等に関する協定の締結や情報伝達ツールも増やしました。避難所はエアベッドなどの備蓄品を充実させるとともに、地区本部員の避難所開設訓練を行い有事に備えています。

令和元年房総半島台風等による被害では、約1万7千500トンの災害廃棄物を処理しました。この経験を生かし、館山市災害廃棄物処理計画を策定しました。また、当時の担当者が環境省の災害廃棄物対策のワーキンググループ等に参加するなど対応力を養っています。さらに、令和3年度に新たに2つの地区で自主防災会が設立されました。今後も地域と連携を図りながら地域防災力の向上を目指していきます。

**解説** いざという時のために平時からの準備が大切です。今後は市民が助け合いながら危機を乗り越えられるよう、自主防災組織の強化を図るとともに、避難のために支援が必要な人たちが、どこにどう避難するかをあらかじめ決めておく「個別避難計画」の策定を進めてほしいと思います。



秋山 光章議員  
5 期目・76 歳・大井  
市民クラブ  
(建設経済委員会委員)

### 里見氏大河ドラマ化 実現に向けた進め方を問う

**問** 里見氏大河ドラマ化は、企画課で担当していますが、新たな部署や担当者の設置について伺います。

**答** 限られた人材の中で組織体制・人員配置等を考えていきます。

**問** 大多喜町では街中にたくさん本多忠勝の旗が見受けられますが、里見大河ドラマ化の旗を市内外にも立てられないか伺います。

**答** のぼり旗の掲出に限らず、里見のイメージ作りに向けた方策を考えます。

**問** 来年度の予算要望の時期ですが、どのような企画で予算を要望するのですか。

**答** 地域の盛り上がりや、里見の史実についての理解を深めていく事が重要です。主人公やヒロインの候補を絞り1年間の放送が出来るようにエピソードを探するため、専門家を招いて勉強会・講演会をする案もあります。

**解説** 南総里見まつりは今後も開催するよう要望しました。また、市役所の壁面の大きな看板については、



市役所庁舎

大河ドラマ実現まで設置していただけるとの回答を頂きました。また、最後に市長が次期市長選挙への立候補を表明しましたが、引き続き、「大河ドラマの実現に向け、頑張ります」との回答をいただきました。

### 入札の実施方法について

**問** 建設工事の業務委託に関する最低制限価格の導入について伺います。

**答** 公共工事の品質確保の観点から予定価格300万円以上の建設工事の入札について最低制限価格を設定していますが、設計、測量などの業務委託については設定していません。

**問** 建設工事の業務委託について、県内自治体の35%が最低制限価格を設定しているとのことですが、本市の導入の見通しはいかがですか。

**答** 国が発表した「新・全国統一指標」の中で、都道府県等の導入目標を令和6年度までとしていますので、本市も令和6年度を目途に検討していきたいと考えています。

**解説** 導入に向けて研究し、より早い導入を要望しました。

### 「学校再編」の協議は各地区へ ～議論する組織の人選を問う～

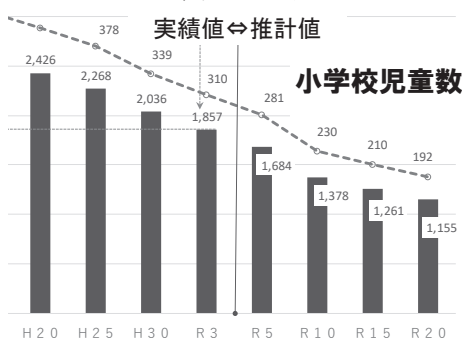


榎本 祐三議員  
5 期目・76 歳・笠名  
たてやま 21・緑風会  
(総務委員会委員)

**問** 小学校10地区でそれぞれに議論する組織を立ち上げ、この議論の結果をもって学校再編計画を立てることになっていますが、組織の人選はどうなっていますか。

**答** 現在の小学校の保護者と、これから小学校に入学予定の児童の保護者について、PTAや幼稚園等の教職員と相談しながら人選を行ってまいります。各地区の町内会等についても、町内会連合協議会の方々と相談しながら人選を行っています。

**解説** 学校再編については、いよいよ各地区での各論の議論に入りますので、組織のメンバーを確認しました。同時に議論の充実を期すため、スケジュールを関係者に明らかにするよう要望しました。



### ご当地ナンバー導入 アンケート結果の評価を問う

**問** 10日間のアンケート期間ではありましたが、全体で2千447件の回答があったことに対してどのような評価をしていますか。

**答** 総務省統計局が示す基準によると、アンケート調査を実施した場合、400件以上の回答を得られれば95%の確率で調査結果として信頼できるとされていることから、一つの指標とすると値する結果を得ることができたと考えています。また、導入を検討する際には「客観的に地域住民の賛同が得られていることが必要である」との共通認識を持てました。

**解説** ご当地ナンバー導入の賛成が82・3%であることから、導入を前提として検討を進めるよう要望しました。問題は「南房総」と「安房」に集約された名称をどのように決めるかであり、取組の方向性を合意した上で進めることを要望しました。

| アンケート結果 |                   |          |          |      |      |      |          |
|---------|-------------------|----------|----------|------|------|------|----------|
| n=2447  |                   |          |          |      |      |      |          |
| 全回答     | 賛成 82.3% 反対 17.7% |          |          |      |      |      |          |
|         | 南房総 26.8%         | 安房 21.5% | 館山 11.9% | 房総   | 鴨川   | 南総   | その他 (反対) |
| 全回答     | 南房総               | 安房       | 館山       | 房総   | 鴨川   | 南総   | その他      |
| 回答数     | 656               | 526      | 292      | 157  | 68   | 60   | 256      |
| 割合      | 26.8%             | 21.5%    | 11.9%    | 6.4% | 2.8% | 2.5% | 10.5%    |



**石井 敏宏議員**  
3期目・50歳・上真倉  
たてやま21・緑風会  
(文教民生委員会委員)

## もともと運転免許がない 高齢者の交通手段について

**問** 免許返納者にはバスやタクシーの優遇措置がありますが、もともと免許を持っていない高齢者も同じ特典が受けられるように、バスやタクシーの業界に働きかけてはどうでしょうか。



**答** 免許返納者を対象とした市内交通事業者独自のサービスとして、市内バス事業者は65歳以上の運転免許証自主返納者向けに路線バスの運賃が半額となる「ノーカー・サポート優待証」を発行しています。また、市内タクシー事業者は、運転経歴証明書、明書の提示により、タクシー料金の割引を受けられるサービスを提供しています。

営状況が続いていると聞いており、現状では、事業者の経営努力によってサービスの対応を免許返納者以外に拡大することは難しい状況にあると認識しています。

館山市では、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも生活することができるよう、市街地循環バスや市内の交通空白地で実施される公共交通の実証運行をはじめ、豊房・神余地区で行われている地域ボランティア組織や集落支援員による移送支援、地域住民による体操教室やふれあい・いきいきサロンの活動支援、民間事業者による移動販売事業の地区へのマッチング支援など、高齢者の外出支援につながる取組を推進しています。これらを進めるためには、交通事業者をはじめ、地域住民、地域ボランティア組織や民間事業者など、多様な主体と連携、協働していくことが必要不可欠です。

ご提案の内容も含め、関係者の皆様としっかりと意見交換を行い、緊密に連携を図ることにより、今後多角的に高齢者の移動手段の確保に努めていきます。



市街地循環バス

## 市民通報システム 早期導入を求む



**森 正一議員**  
3期目・55歳・八幡  
たてやま21・緑風会  
(文教民生委員会委員)

**問** 道路や側溝の不具合、カーブミラーの破損、ごみの不法投棄など、市内の様々な問題を市民がスマホ等により通報する、市民通報システムを導入すべきではないでしょうか。

**答** 市民通報システムは、これまで検討を進めてきており、導入すれば受付手法の統一化が図られるなどのメリットが考えられます。先行する自治体の動向等を参考としつつ、市民の利便性・費用対効果や職員の労力、導入時期などの視点を踏まえ、引き続き検討していきます。

**解説** このシステムの導入により、行政側の効率の向上に加え、市民からの通報の利便性が高まることで、市内の様々な不具合をチェックする目を増やすことにつながります。速やかに検討を進め、早期の導入を強く要望しました。

## 青少年の声を市政に 反映させる取組を問う

**問** 若者の地元への定着を進めるために、青少年の声をくみ上げ、市政に反映する仕組みを作るべきではないでしょうか。

**答** 政策形成の過程において、この先のまちづくりを担う若者を含め、多様な考え方が反映されることが重要です。青少年をはじめ、幅広い市民の皆様に市政を知っていただく取組を進めるとともに、若者がまちづくりに関心を持ち、自由に意見を言えるような機会を設けていきたいと考えています。

**解説** 山形県遊佐町では、町の中学生が選挙により「少年町長」と「少年議員」を選出し、1年の任期の中で、町予算45万円をもとに政策を立案し、町は少年議会において立案された「中学生・高校生の政策」を尊重し、その実現を図っていく、という取組を20年間続けています。このように、若者たちがまちづくりに直接関わることが、自分が生まれ育ったまちに誇りと愛着をもち、親となっても住み続け、子育てしたいと思えるような環境づくりにつながると考え、このような取組の導入を要望しました。





## 追跡レポート

あの審議はどうなった？

「ご当地ナンバー導入に関する請願」

6月定例会で継続審査のその後

### 閉会中審査

総務委員会(石井信重委員長)では、6月定例会で継続審査とした「ご当地ナンバー導入に関する請願」について、9月定例会の審査に向け、総務委員会の閉会中審査を行い、執行部から検討状況の報告を受けました。

【7月29日】

・執行部(企画課)から、安房3市1町での検討会議の報告を受けました。  
報告内容 安房地域が連携してご当地ナンバーの導入を検討することに異論はなかったが、まずは地域住民の意向を確認することが前提である。

【9月1日】

・執行部(企画課)から、アンケート結果を踏まえた、安房3市1町での検討会議の報告を受けました。  
報告内容 各市町からは、「支持が最も多かった名称で進めるべき」「全体の結果と各市町の結果では、食い違いがあり判断が難しい。一つに絞る込むことができない」「反対も多数いる中で、無理に進めなくてもいいのではないか」等の意見があった。



総務委員会 閉会中審査

館山市としては、多数を占めた名称等で再度アンケートの実施を提案したが、他の市町からは「今回のアンケートで結果は出ている」「再度アンケートを実施したとしても傾向は変わらないのではないか」との意見があり、その結果、名称を一つに絞ることができなかった。引き続き、企画担当者間で議論していきたい。

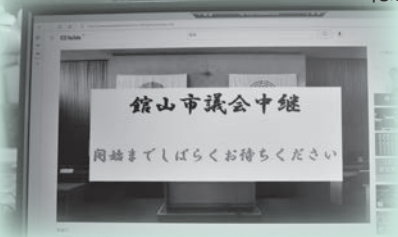


## 市議会を見たい・知りたい

館山市議会は、議場での傍聴の他、パソコンやスマートフォンからのインターネット中継、議会だより、市のホームページなどから確認できます

### YouTube 市議会を動画配信

本会議の様子をYouTube(ユーチューブ)で配信しています。自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継(ライブ動画)や録画(生中継終了後2日程度後からおおむね2か月間)で視聴できます。



### LINEで 簡単に情報GET

館山市の公式ラインを登録することで、議会だよりや議会の情報が配信されます。



### 12月定例会の日程(予定)

- 開会日: 12月13日(火) 午前10時～
- 一般質問: 12月16日(金) 午前10時～
- 12月19日(月) 午前10時～



## 倉吉せきがね里見まつり～石井議長が参加～

9月4日、過去2年コロナ禍により中止となっていた「第35回倉吉せきがね里見まつり」が3年ぶりに開催され、館山市から石井敬之議長、鈴木雄二副市長が参加しました。また、全国各地から、全国里見一族交流会（里見香華会長：館山市）の皆さんも倉吉市に集まり、3年ぶりの再会を喜びました。



大岳院での御焼香



(左から) 鈴木副市長、広田倉吉市長、石井議長

今年は、里見氏最後の当主、里見忠義公没後400年となる節目の年であり、里見忠義主従の廟での神事や忠義公の墓がある大岳院での法要、倉吉里見時代行列などが盛大に行われました。今年4月に市長に就任した広田一恭倉吉市長は「里見氏が築いた館山市をぜひ一度訪れたいですね」と話し、館山市との交流に期待を込めました。

## 「自分ごと化会議」とは？

～議員有志の勉強会開催～

10月3日、「自分ごと化会議」をテーマとした議員有志の勉強会が開催されました。

「自分ごと化会議」とは、これまで政治家や公務員任せにしていたことを住民が直接話し合う会議で、まちづくりを「他人事」ではなく「自分ごと」として考える市民が増えることで市の活性化につなげようとする取組です。

勉強会では、構想日本の熊井成和氏を講師に招き、全国の取組事例などが紹介され、議員、市職員合わせて17人が参加し、今後のまちづくりの参考にしました。



## たてやま議会だより

### 表紙写真を募集中！

あなたの写真で表紙を飾りませんか



議会だより

### ❖募集する写真

四季折々の風景や祭り、行事など、館山市内で撮影された季節が感じられる写真

### ❖応募資格

館山市在住、在勤または在学の方

### ❖応募方法

作品に撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送（CD等に保存）、または電子メール（受信の都合上、1～3MB）で館山市議会事務局へお送りください。詳しくは、「市議会だよりHP」をご覧ください。

## 編集後記

市議会では、議会基本条例に基づき、これまで市民と直接懇談する場として、議会報告会を開催してきましたが、3年前の房総半島台風等による大災害やその後のコロナウイルス感染症対策のため中断しています。そこで、この機会を生かし、どうしたら多くの市民が参加しやすい報告会が開催できるか検討を重ねるため、10月から11月にかけて、アンケート調査を実施しました。アンケート結果と皆様から頂いたご意見・ご要望は、議会報告会の検討と今後の市政運営に生かしてまいります。（本橋）

### 【広報広聴委員会】

委員長 望月 昇  
副委員長 本橋 亮一  
委員 秋山光章 石井信重  
瀬能孝夫 石井敏宏



※議会や議会だよりに関するご意見、ご質問は議会事務局まで、電話またはメールでご連絡ください。

（電話番号及びアドレスは下記を参照）